



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月13日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C E O (氏名) 塚原 謙次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫 TEL 03-5289-3111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,430	22.1	△159	—	△169	—	△414	—
2020年3月期	1,171	△13.9	19	△49.0	17	△52.9	△54	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△34.63	—	△58.0	△16.2	△11.1
2020年3月期	△4.77	—	△7.8	1.7	1.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(注) 当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。また、2020年3月期及び2021年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,097	760	69.0	57.73
2020年3月期	996	672	67.4	58.52

(参考) 自己資本 2021年3月期 756百万円 2020年3月期 671百万円

(注) 当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産額」を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△178	△164	465	475
2020年3月期	△72	△225	18	352

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	—	25	—	23	—	20	—	1.52

(注) 年次での業務管理を行っており、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。また、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	13,112,716株	2020年3月期	11,474,528株
② 期末自己株式数	2021年3月期	148株	2020年3月期	148株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	11,969,593株	2020年3月期	11,474,385株

(注) 当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。
2. 当社は、「財務諸表等規則」に基づいて財務諸表を作成しております。
3. 当社は、2021年2月25日に韓国において100%出資による子会社CommSeed Korea Co., Ltd. (12月決算法人)を設立しておりますが、年度に係る決算日が当社の決算日と異なり、現時点では重要性が乏しいため非連結子会社としております

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2021年5月13日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、下期には若干持ち直しの兆しが出てきているものの、第一回目の緊急事態宣言から国内景気は過去最大の下落を見せ、厳しい状況が続きました。一方、コロナ禍においてICT分野は発展を加速させ、国内ではネット環境をベースにした各種サービスが徐々に浸透してきており、当社では引き続きスマートフォン向けコンテンツビジネスのさらなる成長およびシェアの拡大を図るべく、既存事業の維持と、アライアンスを中心に新規事業の展開を進めてまいりました。

売上高に関しては、主力事業であるバーチャルホール「グリパチ」が堅調に推移し、あわせて新規事業の一部がサービスを開始したことなどから、本事業年度の売上高は前年度を上回りました。

利益面では、売上原価抑制、コスト削減等を図ったものの、新規事業の広告宣伝費が大きく影響し、また一部事業の減損等の影響から、営業損益、経常損益、最終損益ともに、黒字を達成するには至りませんでした。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,430,606千円（前年同期比22.1%増）、営業損失159,488千円（前年同期は営業利益19,961千円）、経常損失169,700千円（前年同期は経常利益17,693千円）、当期純損失414,460千円（前年同期は当期純損失54,755千円）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」が堅調に推移し、V字回復を遂げるに至りました。また、当社が運営を担当し、グリー株式会社をパブリッシャーとするスマートフォンゲーム「ONE PUNCH MAN一撃マジファイト」が当第3四半期にリリースされております。
一方新規タイトルとして期中にリリースした「ビックパッドモンスターズ」については、想定した売上に満たず、早期にサービスを終了し、リソースをその他タイトルに振り分けております。その他のソーシャルゲームについては順調に推移いたしました。以上の結果、ソーシャルゲーム全体の売上は対前期比28.1%の増加となりました。
- ② 従量制アプリについては、年間を通して有力タイトルをリリースするなど堅調に推移しました。以上の結果、従量制アプリは対前期比28.8%の増加となりました。
- ③ 受託開発および運営業務に関しては、ストック型案件、フロー型案件がともに堅調に推移し、売上高は対前期比10.1%の増加となりました。
- ④ その他新規事業につきましては、当第4四半期において、開発部門を中心とした韓国現地法人を設立し、ソーシャルカジノプロジェクトを本格稼働いたしました。最終的には総合型エンターテインメントオンラインプラットフォームを構築することを目指し、日韓合同チームでの開発を開始しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当事業年度末における資産は101,161千円増加し、1,097,253千円（前事業年度末比10.2%増）となりました。

これは主に、現金及び預金122,590千円、売掛金79,777千円、関係会社株式33,345千円の増加がありましたが、受取手形9,000千円、ソフトウェア10,907千円、ソフトウェア仮勘定57,140千円、長期前払費用48,822千円の減少と貸倒引当金9,566千円の計上によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債は13,013千円増加し、336,667千円（前事業年度末比4.0%増）となりました。

これは主に、買掛金39,670千円、前受金16,087千円の増加がありましたが、未払金2,044千円、未払消費税等9,974千円、長期借入金30,348千円の減少によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は88,148千円増加し、760,586千円（前事業年度末比13.1%増）となりました。

これは、主に資本金249,991千円、資本剰余金249,991千円の増加がありましたが、当期純損失の計上による利益剰余金414,460千円の減少によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ122,590千円増加し、475,536千円（対前年同期比34.7%増）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は178,858千円（前年同期は72,493千円の使用）となりました。

これは主に、減価償却費28,107千円、減損損失153,405千円、貸倒引当金の増加9,146千円、関係会社株式評価損62,150千円、仕入債務の増加39,670千円による資金増加と、税引前当期純損失384,814千円、売上債権の増加71,777千円、長期前払費用の増加18,982千円の資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は164,123千円（前年同期は225,607千円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出67,014千円、関係会社株式の取得による支出95,495千円の資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は465,572千円（前年同期は18,962千円の獲得）となりました。

これは主に、株式の発行による収入299,982千円、新株予約権付社債の発行による収入197,368千円の資金増加と、長期借入金の返済による支出30,348千円の資金減少によるものです。

(4) 今後の見通し

当社は、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定した収益が見込める受託事業を軸に収益基盤を維持してまいります。そのうえで、当社が中長期的な成長を目指すには、「グリパチ」に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、新規タイトルの育成、国内外ゲームタイトルのパブリッシング展開および新規事業領域への挑戦等、新たな事業開拓を引き続き継続し、事業拡大を目指してまいります。

2022年3月期の通期業績の予想についてですが、売上高につきましては既存事業が堅調に推移することを見込んでいる一方で、新規事業に関しての本格的な業績寄与は、翌期以降を見込んでおります。また、現在、新型コロナウイルス感染症の収束時期を予想することは困難ではあるものの、重要な影響を与える可能性は低いものと認識しております。

一方、利益面につきましては、主に先行投資費用となるソーシャルカジノ開発に関する費用が増加する見通しですが、既存事業の復調および徹底した原価の見直しを行い、回復を見込んでおります。

なお、当社を取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことに加え、当社業績は著作権を持つ取引先の状況や、パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリに関する実機の許認可の状況に左右される場合があり、当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されるため、通期業績のみを開示しております。

以上により、2022年3月期の通期業績につきましては、売上高は1,800百万円（注）、営業利益25百万円（前年同期は営業損失159百万円）、経常利益23百万円（前年同期は経常損失169百万円）、当期純利益20百万円（前年同期は当期純損失414百万円）を見込んでおります。

（注）2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、業績予想値は当該会計基準等を適用した後の金額としており、対前年同期との比較は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	352,945	475,536
受取手形	19,900	10,900
売掛金	182,147	261,925
仕掛品	2,534	1,858
原材料及び貯蔵品	1,158	1,137
前渡金	23,850	19,187
前払費用	41,909	70,854
未収消費税等	-	3,268
その他	8	583
貸倒引当金	-	△9,566
流動資産合計	624,455	835,685
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	16,617	16,617
減価償却累計額	△13,561	△14,078
建物(純額)	3,056	2,538
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	21,529	24,213
減価償却累計額	△16,592	△18,298
工具、器具及び備品(純額)	4,936	5,915
有形固定資産合計	7,992	8,454
無形固定資産		
電話加入権	448	448
ソフトウェア	47,648	36,741
ソフトウェア仮勘定	57,140	-
無形固定資産合計	105,237	37,189
投資その他の資産		
投資有価証券	60,600	60,600
関係会社株式	70,200	103,545
関係会社社債	59,800	59,800
出資金	20	20
長期貸付金	9,000	8,580
差入保証金	21,609	21,959
長期前払費用	48,822	-
繰延税金資産	27,354	-
貸倒引当金	△39,000	△38,580
投資その他の資産合計	258,407	215,924
固定資産合計	371,636	261,568
資産合計	996,091	1,097,253

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,672	137,343
1年内返済予定の長期借入金	30,348	30,348
未払金	13,160	11,115
未払費用	3,622	4,142
未払法人税等	7,027	5,723
未払消費税等	9,974	-
前受金	30,181	46,269
預り金	2,897	3,303
流動負債合計	194,884	238,245
固定負債		
長期借入金	101,196	70,848
退職給付引当金	8,376	8,376
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	128,769	98,421
負債合計	323,654	336,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,926	1,134,917
資本剰余金		
資本準備金	316,035	566,026
資本剰余金合計	316,035	566,026
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△529,433	△943,894
利益剰余金合計	△529,433	△943,894
自己株式	△53	△53
株主資本合計	671,474	756,995
新株予約権	963	3,590
純資産合計	672,437	760,586
負債純資産合計	996,091	1,097,253

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,171,372	1,430,606
売上原価	720,280	999,620
売上総利益	451,092	430,985
販売費及び一般管理費	431,131	590,474
営業利益又は営業損失(△)	19,961	△159,488
営業外収益		
受取利息	367	313
その他	6	111
営業外収益合計	374	425
営業外費用		
支払利息	1,152	1,139
社債利息	-	241
支払手数料	1,490	5,144
株式交付費	-	1,429
社債発行費	-	2,631
その他	-	50
営業外費用合計	2,642	10,636
経常利益又は経常損失(△)	17,693	△169,700
特別利益		
新株予約権戻入益	57	21
貸倒引当金戻入額	-	420
特別利益合計	57	441
特別損失		
減損損失	21,189	153,405
貸倒引当金繰入額	39,000	-
投資有価証券評価損	169	-
関係会社株式評価損	-	62,150
特別損失合計	60,359	215,555
税引前当期純損失(△)	△42,609	△384,814
法人税、住民税及び事業税	2,294	2,291
法人税等調整額	9,852	27,354
法人税等合計	12,146	29,646
当期純損失(△)	△54,755	△414,460

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		84,603	11.7	95,125	9.1
II 外注費		103,356	14.3	210,262	20.1
III 経費		532,550	73.9	693,556	70.8
当期総製造費用		720,511	100.0	998,944	100.0
期首仕掛品棚卸高		2,304		2,534	
計		722,815		1,001,479	
期末仕掛品棚卸高		2,534		1,858	
当期売上原価		720,280		999,620	

(注) 原価計算の方法
個別原価法によっております。

※1. 経費のうち主なものは次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
著作権料 (千円)	219,662	258,414
システム利用料 (千円)	115,794	123,520
情報使用料 (千円)	37,050	50,571
通信費 (千円)	28,604	36,093
減価償却費 (千円)	18,766	26,660

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	884,926	316,035	316,035	△474,677	△474,677	-	726,283
当期変動額							
当期純損失 (△)			-	△54,755	△54,755		△54,755
自己株式の取得			-		-	△53	△53
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			-		-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	△54,755	△54,755	△53	△54,809
当期末残高	884,926	316,035	316,035	△529,433	△529,433	△53	671,474

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	1,020	727,303
当期変動額		
当期純損失 (△)		△54,755
自己株式の取得		△53
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△57	△57
当期変動額合計	△57	△54,866
当期末残高	963	672,437

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	884,926	316,035	316,035	△529,433	△529,433	△53	671,474
当期変動額							
新株の発行	149,991	149,991	149,991		-		299,982
転換社債型新株予約権付社債の転換	100,000	100,000	100,000		-		200,000
当期純損失 (△)			-	△414,460	△414,460		△414,460
自己株式の取得			-		-		-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			-		-		-
当期変動額合計	249,991	249,991	249,991	△414,460	△414,460	-	85,521
当期末残高	1,134,917	566,026	566,026	△943,894	△943,894	△53	756,995

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	963	672,437
当期変動額		
新株の発行		299,982
転換社債型新株予約権付社債の転換		200,000
当期純損失 (△)		△414,460
自己株式の取得		-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,627	2,627
当期変動額合計	2,627	88,148
当期末残高	3,590	760,586

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△42,609	△384,814
減価償却費	20,308	28,107
減損損失	21,189	153,405
新株予約権戻入益	△57	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	39,000	9,146
関係会社株式評価損	169	62,150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△718	—
株式報酬費用	—	2,648
受取利息及び受取配当金	△368	△313
支払利息	1,152	1,380
株式交付費	—	1,429
社債発行費	—	2,631
売上債権の増減額 (△は増加)	21,554	△71,777
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△48	697
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,519	39,670
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△23,500	819
前払費用の増減額 (△は増加)	△22,279	△5,390
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△53,145	△18,982
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△9,439	3,691
小計	△69,311	△175,523
利息及び配当金の受取額	368	313
利息の支払額	△1,255	△1,357
法人税等の支払額	△2,294	△2,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△72,493	△178,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,684
無形固定資産の取得による支出	△97,607	△67,014
関係会社株式の取得による支出	△70,200	△95,495
関係会社社債の取得による支出	△59,800	—
貸付金の回収による収入	—	420
敷金の差入による支出	—	△350
その他の収入	2,000	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,607	△164,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△80,984	△30,348
株式の発行による収入	—	299,982
株式の発行による支出	—	△1,429
新株予約権付社債の発行による収入	—	197,368
自己株式の取得による支出	△53	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,962	465,572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△279,138	122,590
現金及び現金同等物の期首残高	632,084	352,945
現金及び現金同等物の期末残高	352,945	475,536

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	70,200千円	8,050千円
持分法を適用した場合の投資の金額	63,898	8,050
	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
持分法を適用した場合の投資利益 (△は損失) の 金額	△6,301千円	△55,848千円

(注) 関連会社に対する投資の金額は、当事業年度において減損処理しております。

(セグメント情報等)

当社は、モバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	58.52円	57.73円
1株当たり当期純損失 (△)	△4.77円	△34.63円

(注) 1. 当社は、2020年1月24日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純損失を算定しております。

2. 1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失 (△)		
当期純損失 (△) (千円)	△54,755	△414,460
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失 (△) (千円)	△54,755	△414,460
普通株式の期中平均株式数 (株)	11,474,385	11,969,593

(注) 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。